

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成17年 9月29日発表

農業経営統計調査

平成16年 個別経営の営農類型別経営統計 (水田作経営：九州)

- 台風の影響により稲作、豆類作において収入が減少 -

【調査結果の概要】

1 平成16年の水田作経営農家の経営全体での1戸当たり農業所得(農業生産関連事業所得含む)は39万円となり、これを、水田作付け延べ面積規模別にみると、3.0ha未満が10万円、3.0~6.0haが322万円、6.0~10.0haが311万円、10.0ha以上が559万円となっています。

また、農業所得に農外所得、農業生産関連事業所得及び年金・被贈等の収入を加えた農家総所得は、経営全体1戸当たりで483万円となっています。

図1 水田作農家の所得構成(九州、1戸当たり平均)

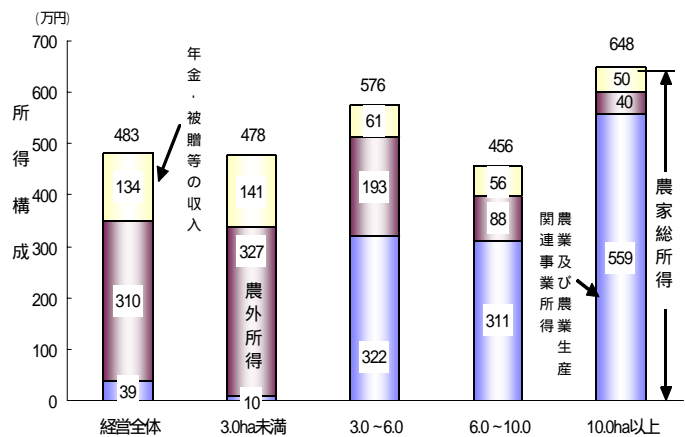


表1 1戸当たり主要指標の動向

単位：千円

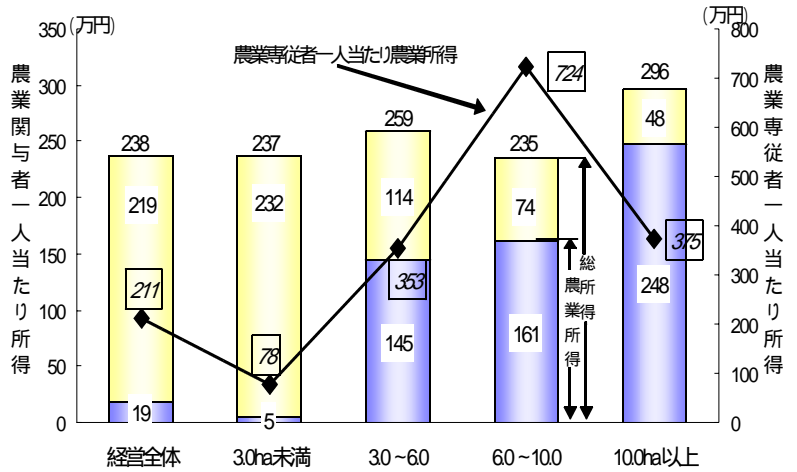
	水田作経営全体	3.0ha未満	3.0~6.0	6.0~10.0	10.0ha以上
	金額	金額	金額	金額	金額
農業所得	379	94	3 215	3 114	5 434
農業粗収益	1 902	1 261	7 792	7 803	14 843
農業経営費	1 523	1 167	4 577	4 689	9 409
農業生産関連事業所得	8	5	-	-	157
農外所得	3 102	3 267	1 932	879	398
年金・被贈等の収入	1 338	1 412	609	562	495
農家総所得	4 827	4 778	5 756	4 555	6 484

「農業生産関連事業」とは、「農産物の加工」、「店や消費者に直接販売」、「観光農園」、「体験農園」等の農業生産に関連した事業をいいます。

農業経営統計調査は、平成16年から新たな体系により調査を開始しました。従って新たな体系による営農類型別経営統計は、前年比較を行っていません。詳細は、【調査の仕様】11Pに掲載しています。

図1中に掲げた数値は、ラウンド(四捨五入)したために総数と内訳が一致しないものがあります。

図2 規模別農業関与者と農業専従者一人当たり農業所得

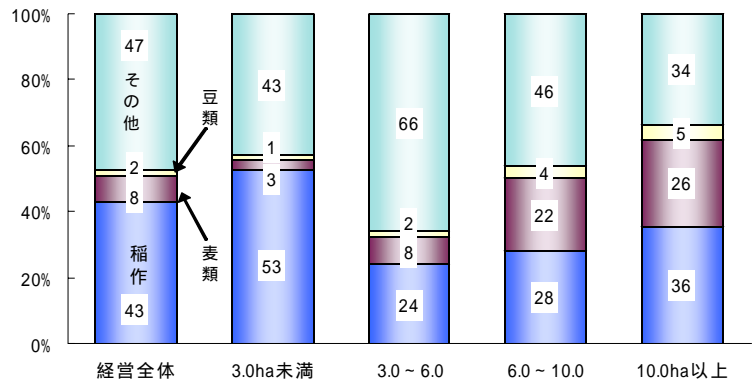


2 経営全体でみた農業経営関与者

1人当たり総所得は238万円で、これを、水田作付け延べ面積規模別にみると、3.0ha未満が237万円、3.0~6.0haが259万円、6.0~10.0haが235万円、10.0ha以上が296万円となっています。

また、総所得に占める農業所得割合は経営全体で8%、3.0ha未満が2%、3.0~6.0haが56%、6.0~10.0haが69%、10.0ha以上が84%となり、規模が拡大することによって農業所得も大きくなっています。

図3 水田作物の収入の構成割合



3 経営全体でみた水田作物収入

に占める稲作収入割合は、43%となっています。

これを規模別にみると、3.0ha未満が53%、3.0~6.0haが24%、6.0~10.0haが28%、10.0ha以上が36%となっており、規模が拡大すると稲作割合は平均を下回り、麦類、豆類の収入割合が増加しています。

表2 規模別にみた農業経営の概要

区分	単位	水田作平均	3.0ha未満	3.0~6.0	6.0~10.0	10.0ha以上
農業所得	千円	379	94	3 215	3 114	5 434
農業粗収益	"	1 902	1 261	7 792	7 803	14 843
うち、稲作収入	"	812	664	1 858	2 178	5 293
麦類収入	"	155	40	642	1 735	3 853
豆類収入	"	36	14	149	292	706
農業経営費	"	1 523	1 167	4 577	4 689	9 409
農家総所得	"	4 827	4 778	5 756	4 555	6 484
農業所得率	%	19.9	7.5	41.3	39.9	36.6
収益性(農業所得)						
家族労働1時間当たり	円	411	120	1 326	1 594	1 733
固定資本千円当たり	"	128	35	615	617	552
水田作付け10a当たり	千円	28	11	68	41	34
月平均農業経営関与者数	人	2.03	2.02	2.22	1.94	2.19
農業専従者数	"	0.18	0.12	0.91	0.43	1.45
水田作付け延べ面積	"	135	83	470	758	1 609
農業固定資本額	千円	2 961	2 697	5 224	5 043	9 843
自営農業労働時間	時間	984	828	2 697	2 180	3 336

「農業経営関与者」とは、経営主夫婦及び60日以上当該農家の農業に従事する世帯員である家族をいう。
 「農業専従者」とは、専ら自営農業に従事している者であり、自営農業に従事した日数が150日以上のをいう。

本統計結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用頂けます。

【<http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/home/sokuho.htm>】

統計表

【目次】

1 水田作経営 （九州、水田作作付延べ面積規模別）	・・・ 4
2 関連するデータ、情報	・・・ 10

【統計表中に使用した記号】

- 「 - 」 ・・・ 事実のないもの
- 「 ... 」 ・・・ 事実不詳又は調査を欠くもの
- 「 0 」 ・・・ 単位に満たないもの
- 「 」 ・・・ 負数又は減少したもの

統計表中に（参考）として掲載しています「九州15年値」については、「平成15年農業経営動向統計」調査結果から、九州分を抜き出し加工集計したものです。

したがって、平成15年の水田作経営における九州平均ではありませんので、参考としてご利用下さい。

水田作経営（九州）

ア 経営収支の総括

	集計戸数	農 業			農業生産関連事業			
		粗収益	経営費	所得	収入	支出	所得	
全 国	1	戸 2 279	1 771	1 379	392	13	11	2
九 州	2	244	1 902	1 523	379	12	4	8
水田作作付延べ面積規模別								
3.0ha未満	3	167	1 261	1 167	94	9	4	5
3.0～6.0	4	34	7 792	4 577	3 215	-	-	-
6.0～10.0	5	21	7 803	4 689	3 114	-	-	-
10.0ha以上	6	22	14 843	9 409	5 434	358	201	157
稲作1位経営全体	7	183	1 378	1 242	136	13	6	7
麦作1位経営全体	8	33	4 249	2 874	1 375	-	-	-
(参 考)								
九州 平成15年	9	...	2 150	1 467	683	5	2	3

イ 分析指標

	農業所得率	付加価値額	付加価値率	農業固定資産 装備率	農業固定資産 回転率	収益性（農業）		
						家族農業 労働1時間 当たり	農業固定 資産千円 当たり	
全 国	1	% 22.1	千円 479	% 27.0	円 3 092	回 0.8	円 501	円 155
九 州	2	19.9	491	25.8	3 009	0.8	411	128
水田作作付延べ面積規模別								
3.0ha未満	3	7.5	147	11.7	3 257	0.6	120	35
3.0～6.0	4	41.3	3 839	49.3	1 937	1.7	1 326	615
6.0～10.0	5	39.9	3 778	48.4	2 313	1.7	1 594	617
10.0ha以上	6	36.6	6 766	45.6	2 951	1.6	1 733	552
稲作1位経営全体	7	9.9	207	15.0	3 437	0.6	176	49
麦作1位経営全体	8	32.4	1616	38.0	3 574	1.3	1 431	387
(参 考)								
九州 平成15年	9	31.8	812	37.8	2 883	0.7	662	230

単位：千円

農 外			年金等の 収 入	総所得	租税公課 諸負担	可 処 分 所 得	(参考) 共済、補助金等を除く農業収支			区 分
収 入	支 出	所 得					農 業 粗収益	農 業 経営費	農業所得	
3 010	240	2 770	1 765	4 929	710	4 219	1 634	1 322	312	1
3 477	375	3 102	1 338	4 827	700	4 127	1 663	1 469	194	2
3 647	380	3 267	1 412	4 778	682	4 096	1 121	1 137	16	3
2 390	458	1 932	609	5 756	936	4 820	6 954	4 377	2 577	4
1 036	157	879	562	4 555	702	3 853	6 258	4 334	1 924	5
529	131	398	495	6 484	1 065	5 419	12 223	8 837	3 386	6
3 600	402	3 198	1 384	4 725	684	4 041	1 200	1 199	1	7
3 106	124	2 982	1 132	5 489	823	4 666	3 276	2 678	598	8
3 201	298	2 903	1 369	4 958	729	4 229	1 829	1 407	422	9

ウ 経営の概要

所得)	生産性 (付加価値額)				月平均農 業経営関 与者数	農 業 専従者数	経営耕地 面 積	借入地	自営農業 労働時間	家 族 (ゆい・ 手間替え 含む)	区 分
	水田作 付延べ面 積10a 当たり	自営農業 労働1時 間当たり	農業固定 資産千円 当たり	水田作 付延べ面 積10a 当たり							
千円	円	円	千円	人	人	a	a	時間	時間		
32	587	190	40	2.01	0.11	164	35	816	783	1	
28	499	166	36	2.03	0.18	152	43	984	923	2	
11	178	55	18	2.02	0.12	119	19	828	786	3	
68	1 423	735	82	2.22	0.91	420	231	2 697	2 425	4	
41	1 733	749	50	1.94	0.43	482	249	2 180	1 953	5	
34	2 028	687	42	2.19	1.45	947	637	3 336	3 136	6	
12	255	74	19	2.01	0.11	136	32	812	773	7	
30	1 624	454	35	2.04	0.14	275	126	995	961	8	
51	788	273	61	2.01	0.20	149	44	1 031	1 031	9	

ウ 経営の概要（つづき）

	農業生産 関連事業 労働時間	家族	農業固定 資産額 (土地を 除く)	年末借入 金・買掛 未払金残 高	作 付			
					農 業 負担分	水田作作 付延べ面 積	稲 作	
	時間	時間	千円	千円	千円	a	a	
全 国	1	6	5	2 523	1 364	355	121	99
九 州	2	3	3	2 961	1 391	298	135	83
水田作作付延べ面積規模別								
3.0ha未満	3	3	3	2 697	1 367	190	83	66
3.0～6.0	4	-	-	5 224	702	669	470	220
6.0～10.0	5	-	-	5 043	1 768	1 184	758	251
10.0ha以上	6	101	89	9 843	6 262	6 053	1 609	481
稲作1位経営全体	7	3	3	2 791	1 380	204	110	79
麦作1位経営全体	8	-	-	3 556	1 227	1 173	466	127
(参 考)								
九 州 平成15年	9	2 972	1 544	...	133	78

エ 農業粗収益

		農 業 粗						
		合 計	作物収入	粗				野 菜
				稲 作	麦 類	豆 類	大 豆	
全 国	1	1 771	1 512	1 176	58	31	24	135
九 州	2	1 902	1 554	812	155	36	35	142
水田作作付延べ面積規模別								
3.0ha未満	3	1 261	1 029	664	40	14	13	85
3.0～6.0	4	7 792	6 699	1 858	642	149	147	369
6.0～10.0	5	7 803	6 101	2 178	1 735	292	292	1 472
10.0ha以上	6	14 843	11 271	5 293	3 853	706	706	826
稲作1位経営全体	7	1 378	1 103	797	90	26	25	134
麦作1位経営全体	8	4 249	3 046	980	1 432	191	191	311
(参 考)								
九 州 平成15年	9	2 150	1 737	1 071	95	46	...	147

面積			生産量			区分
麦類	豆類	大豆	水稻	麦類	大豆	
a	a	a	kg	kg	kg	
13	9	8	4 990	456	87	1
32	15	14	3 382	1 249	123	2
9	6	6	2 740	333	47	3
132	53	53	8 474	5 037	584	4
379	115	115	9 616	14 398	906	5
781	330	330	18 638	29 817	2 672	6
21	11	11	3 278	757	90	7
268	71	71	4 506	10 706	658	8
31	16	15	3 655	815	217	9

単位：千円

果樹	収 益			農業現金 収 入	水 田 作 作物収入	区分
	畜産収入	その他	共済・補 助金等受 取金			
22	30	229	137	1 651	1 309	1
32	60	288	239	1 794	1 306	2
20	62	170	140	1 151	872	3
237	1	1 092	838	7 707	5 583	4
36	4	1 698	1 545	7 739	4 570	5
3	416	3 156	2 620	14 379	10 278	6
30	54	221	178	1 267	910	7
47	89	1 114	973	4 192	2 604	8
29	48	365	321	2 028	...	9

才 農業経営費

		農 業						農機具・ 農用自動車
		合 計	農業雇用 労賃	種 苗・苗 木	肥 料	農業薬剤	光熱動力	
全 国	1	1 379	21	70	120	98	63	374
九 州	2	1 523	29	62	123	109	83	441
水田作付延べ面積規模別								
3.0ha未満	3	1 167	18	48	86	79	65	379
3.0～6.0	4	4 577	142	178	470	368	271	999
6.0～10.0	5	4 689	129	207	443	388	186	863
10.0ha以上	6	9 409	175	371	844	800	502	1 939
稲作1位経営全体	7	1 242	14	55	94	84	63	390
麦作1位経営全体	8	2 874	20	119	264	213	107	672
(参 考)								
九州 平成15年	9	1 467	26	62	130	104	73	426

注：1 16年に費目区分の変更を行ったため、前年とは計上している内容が異なります。従って、前年比較は行っていません。区分変更の詳細については、【調査の仕様】を参照して下さい。

注：2 その他には、動物、飼料、諸材料、農用建物、包装荷造り・運搬等料金等の費用が含まれています。

単位：千円

経		営				費		農業現金 支 出	減 価 償却費	区 分
(注1) 賃借料	(注1) 作業委託 料	土地改 良・水利 費	支 払 小作料	(注1, 2) その他	共済・補助 金等掛金					
95	72	80	57	329	57	1 055	324	1		
151	46	51	74	354	54	1 145	378	2		
106	37	40	28	281	30	827	340	3		
447	170	119	467	946	200	3 874	711	4		
841	37	205	507	883	355	4 050	631	5		
839	195	245	1 051	2 448	572	8 018	1 411	6		
117	44	45	50	286	43	894	348	7		
507	36	127	208	601	196	2 345	536	8		
198		48	86	314	60	1 089	378	9		

【関連するデータ、情報】

1 水稲の動向（九州）

九州	作物統計			米生産費統計			
	作付面積	収穫量	10a当たり収量	10a当たり全算入生産費	10a当たり物財費	10a当たり投下労働時間	10a当たり粗収益
	ha	t	kg	円	円	時間	円
平成 12年産	210 500	1 073 000	510	157 770	77 323	38.64	121 899
13年産	202 600	1 035 000	511	154 721	76 546	38.67	123 712
14年産	199 600	1 008 000	505	153 296	78 285	36.14	116 013
15年産	196 800	945 600	480	151 286	80 164	34.30	132 821
16年産	201 900	855 800	424	148 015	77 731	36.11	104 965

2 小麦の動向（九州）

九州	作物統計			小麦生産費統計			
	作付面積	収穫量	10a当たり収量	10a当たり全算入生産費	10a当たり物財費	10a当たり投下労働時間	10a当たり粗収益
	ha	t	kg	円	円	時間	円
平成 12年産	28 100	122 800	437	67 407	37 453	9.90	64 218
13年産	30 800	104 000	338	62 272	34 106	9.70	51 866
14年産	31 500	97 100	308	60 237	33 040	9.46	44 820
15年産	33 300	99 500	299	58 295	32 658	9.38	43 782
16年産	35 200	132 100	375	60 166	34 822	9.27	52 788

3 大豆の動向（九州）

九州	作物統計			大豆生産費統計			
	作付面積	収穫量	10a当たり収量	10a当たり全算入生産費	10a当たり物財費	10a当たり投下労働時間	10a当たり粗収益
	ha	t	kg	円	円	時間	円
平成 12年産	20 900	45 300	217	65 039	31 697	12.71	57 911
13年産	25 300	53 100	210	62 087	29 596	12.60	49 419
14年産	26 300	64 700	246	63 662	31 435	11.81	51 363
15年産	25 900	38 900	150	61 398	30 873	11.39	49 436
16年産	24 000	18 200	76	55 904	30 846	9.51	33 135

注：各種生産費統計における「10a当たり粗収益」は庭先販売価格であり、営農類型別経営統計との違いは、搬出費及び出荷経費を除いているところです。また、共済受取金や産地づくり対策助成金等は含まれていません。

【調査の仕様】

農業経営統計調査は、食料・農業・農村基本計画の「農業経営の展望」に示す「水田作」等の営農類型別・地域別による経営実態の把握という面で不十分であったなど、新たな施策の展開に応えきれない状況にあったことから、

組織経営を含め農業経営の実態を一体的かつきめ細かく明らかにする観点から、法人、集落営農などの組織経営に関する調査の充実を行いつつ、調査（対象）の区分を食料・農業・農村基本計画に示す「農業経営の展望」の地域・営農類型にもとづき編成して、「営農類型別経営統計」に再編

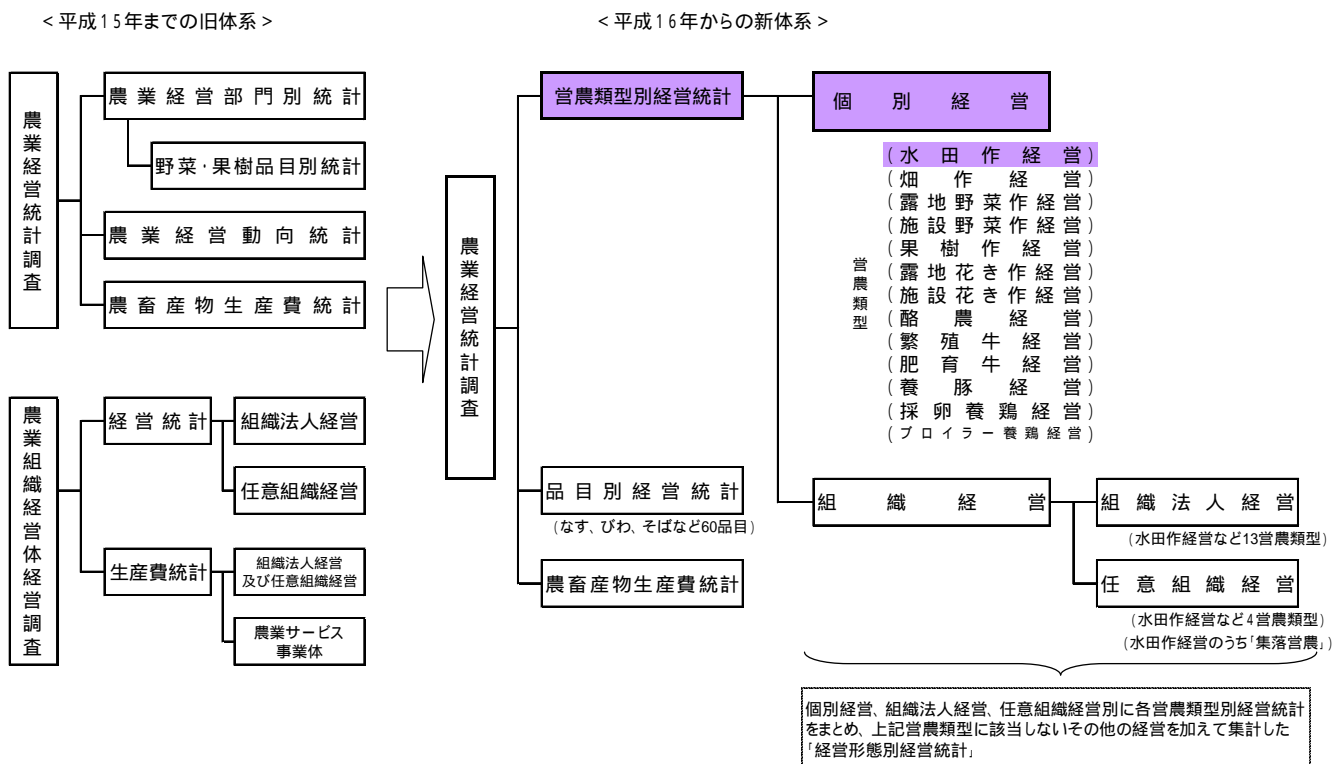
農業共済等の農業経営由来の収支項目について、青色申告や諸外国の取扱いとの整合性を図る観点から、「農業経営収支」として整理

経営収支等について、経営に着目した把握とし、農業経営部門別にも把握

その際、農業に関する部門は、これまでどおり農家世帯による把握とし、それ以外は経営主夫婦及び農業経営に関与する世帯員を中心とする家族経営の視点に立って把握

する等により、農業経営関連諸施策等の見直し・再編に的確に対応した調査体系、統計体系及び調査内容とし、平成16年から新体系による調査を開始しました。

農業経営統計調査の体系



1 調査の概要

調査の概要は以下のとおりです。

(1) 調査農家の営農類型分類について

調査農家の営農類型区分及び分類基準については、以下のとおりです。

(この第一報は、「水田作経営」に分類された調査農家について集計を行っています。)

営農類型の種類	営農類型の分類基準
水田作経営	・稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物のうち、水田で作付けした作物の販売収入合計が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
畑作経営	・稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物のうち、畑で作付けした作物の販売収入合計が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
野菜作経営 ・露地野菜作経営 ・施設野菜作経営	・野菜の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営 ・野菜作経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営 ・野菜作経営のうち、施設野菜の販売収入が露地野菜の販売収入より多い経営
果樹作経営	・果樹の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
花き作経営 ・露地花き作経営 ・施設花き作経営	・花きの販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営 ・花き作経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営 ・花き作経営のうち、施設花きの販売収入が露地花きの販売収入より多い経営
酪農経営	・酪農の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
肉用牛経営 ・繁殖牛経営 ・肥育牛経営	・肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業販売収入に比べ最も多い経営 ・肉用牛経営のうち、繁殖牛経営に係る販売収入が肥育牛経営に係る販売収入以上である経営 ・肉用牛経営のうち、肥育牛経営に係る販売収入が繁殖牛経営に係る販売収入より多い経営
養豚経営	・養豚の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
採卵養鶏経営	・採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
ブロイラー養鶏経営	・ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業販売収入と比べ最も多い経営
その他経営	・上記の営農類型に分類されない経営

(2) 営農類型別経営統計において収支を把握する部門及び基準について

営農類型別経営統計において収支等を把握する部門区分及び含まれる作目等については以下のとおりです。

把握する部門は、農業販売収入に占める割合が10%以上の部門で、収入金額の大きい部門から累積して、80%までの部門（最大4部門）を設定し、設定した部門以外の収支については「その他部門」としてまとめて把握しています。

なお、部門収支については水田作経営であっても田作、畑作を分けずに田畑合計の収支としており、水田作経営で作成する統計において表章する部門については、「2 統計表章の概要」の「(1) 水田作経営における統計編成」を参照して下さい。

部 門 区 分	部 門 収 支 に 含 ま れ る 作 目 等
稲 作	・主食用米、加工用米、区分出荷米、その他の米、水稻稲わら、水稻加工品、陸稲、陸稲稲わら、陸稲加工品等
麦 類 作	・田作小麦、畑作小麦、田作大麦等、畑作大麦等
か ん し ょ 作	・田作かんしょ、畑作かんしょ
ば れ い し ょ 作	・田作ばれいしょ、畑作ばれいしょ
豆 類 作	・田作大豆、畑作大豆、田作その他豆類、畑作その他豆類
雑 穀 作	・田作そば、畑作そば、田作その他雑穀、畑作その他雑穀
露 地 野 菜 作	・露地野菜
施 設 野 菜 作	・施設野菜
り ん ご 作	・りんご
み か ん 作	・温州みかん
ぶ ど う 作	・ぶどう
な し 作	・日本なし
も も 作	・もも
そ の 他 果 樹 作	・上記以外の果樹
露 地 花 き 作	・露地花き
施 設 花 き 作	・施設花き
茶 作	・茶
さ と う き び 作	・さとうきび
そ の 他 工 芸 農 作 物	・てんさい、田作その他工芸農作物、畑作その他工芸農作物
酪 農	・生乳、自家で生産した育成・肥育及び交雑種牛
繁 殖 牛	・自家で生産した和牛（外国種を含む。）
肥 育 牛	・肥育牛、育成牛
養 豚	・養豚
採 卵 養 鶏	・採卵養鶏（廃鶏含む。）
ブ ロ イ ラ ー 養 鶏	・ブロイラー養鶏

(3) 経営収支並びに資産及び負債の把握の範囲

経営収支並びに資産及び負債の把握については、新体系において、

- ・農家世帯の農業全体
- ・農業経営関与者注が経営権を持っている農業生産関連事業及び農外事業等

に着目した把握としたことにより、把握の範囲を以下のとおりとしました。

ア 農業：農家世帯全体の経営収支（見直し前と同様）

イ 農業以外：農業経営関与者の経営収支

注：「農業経営関与者」とは、農業経営主夫婦及び年間60日以上当該農家の農業に従事する世帯員である家族をいいます。

なお、15歳未満の世帯員及び高校・大学等への就学中の世帯員は、年間の自営農業従事日数が60日以上であっても農業経営関与者とはしません。

(4) 農業粗収益

農業粗収益には、農業経営の成果である農産物等の販売収入、現物外部取引額、農業生産現物家計消費額、農作業受託収入等の収入を計上しますが、新体系において次の見直しを行いました。

ア 経営安定対策等の補てん金・助成金については、「農業雑収入」に計上しました。

なお、販売価格の一部として交付される助成金等については、見直し前と同様に当該農産物の販売収入として計上しました。

イ 経常補助金、農業共済組合からの共済金として受け取った受取共済金収入は農業粗収益として「農業雑収入」に計上しました。

ウ 観光農園の入園料等の収入は、見直し前は当該農産物の販売収入に計上していましたが農業粗収益から除き「農業生産関連事業」に計上しました。

エ 農産加工等の自営兼業に自家で生産した農産物を仕向けた場合、見直し前はその評価額を当該農産物の販売収入として計上していましたが、これを内部仕向として区分しました。

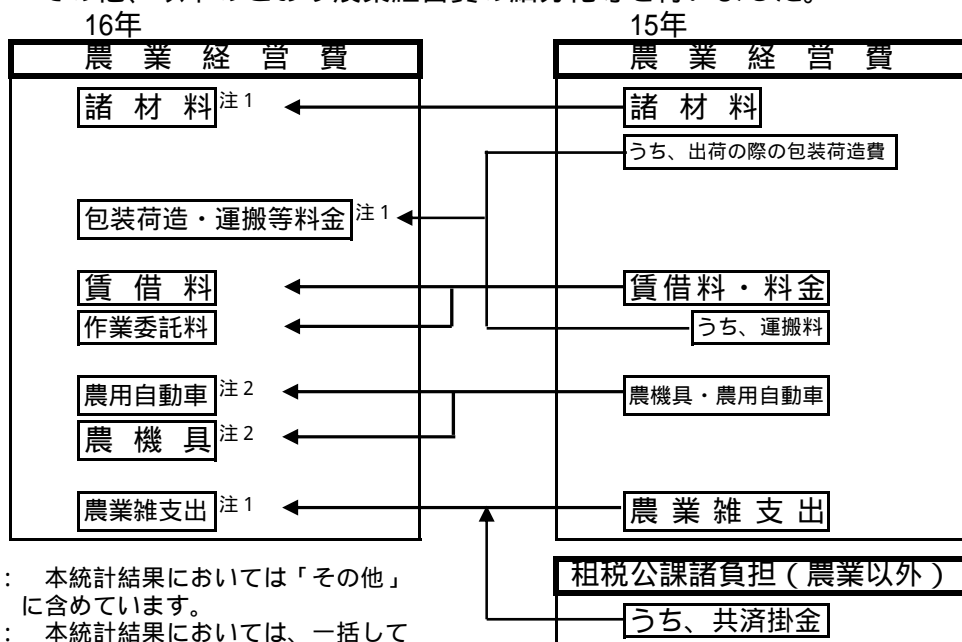
(5) 農業経営費

農業経営費には、農業粗収益をあげるために要した資材や料金の一切の費用を計上しますが、新体系においては次の見直しを行いました。

ア 農業共済掛金は、見直し前は「租税公課諸負担（農業以外）」に計上していましたが、農業経営費として「農業雑支出」に計上しました。

イ 観光農園の維持・運営に係る支出は、見直し前は農業経営費の該当項目に計上していましたが、農業経営費から除き「農業生産関連事業支出」に計上しました。

ウ その他、以下のとおり農業経営費の細分化等を行いました。



注1：本統計結果においては「その他」に含めています。

注2：本統計結果においては、一括して表章しています。

(6) 農業生産関連事業収支

農業生産関連事業の収支には、農業経営関係者が経営権を持っている事業の収支を計上しました。

なお、「農業生産関連事業」とは、農業経営関係者が経営する農産加工、農家民宿、農家レストラン、観光農園、市民農園等の農業に関連する事業であって、従事者がいること、

当該農家で生産した農産物を使用していること、当該農家が所有又は借り入れている耕地若しくは農業施設を利用していること、のいずれかに該当するものとします。

ただし、これらの事業を行っていても、別に法人化等により経営する事業は、農業生産関連事業とはせず、農外事業としました。

(7) 農外収入

農外収入には、農業経営関係者が経営権を持っている農業及び農業生産関連事業以外の事業の収入、農業経営関係者が他の経営に雇用されて受け取る給料・俸給等のほか、農業経営関係者が受け取る歳費・手当、配当利子等、貸付地の小作料並びに地代収入等を計上しました。

(8) 農外支出

農外支出には、上記(7)の事業に係る支出及び負債利子を計上しました。

(9) 年金等の収入

農業経営関係者が受け取る年金及び各種社会保障制度による給付金、退職金、各種祝い金及び見舞金を計上しました。

(10) 租税公課諸負担

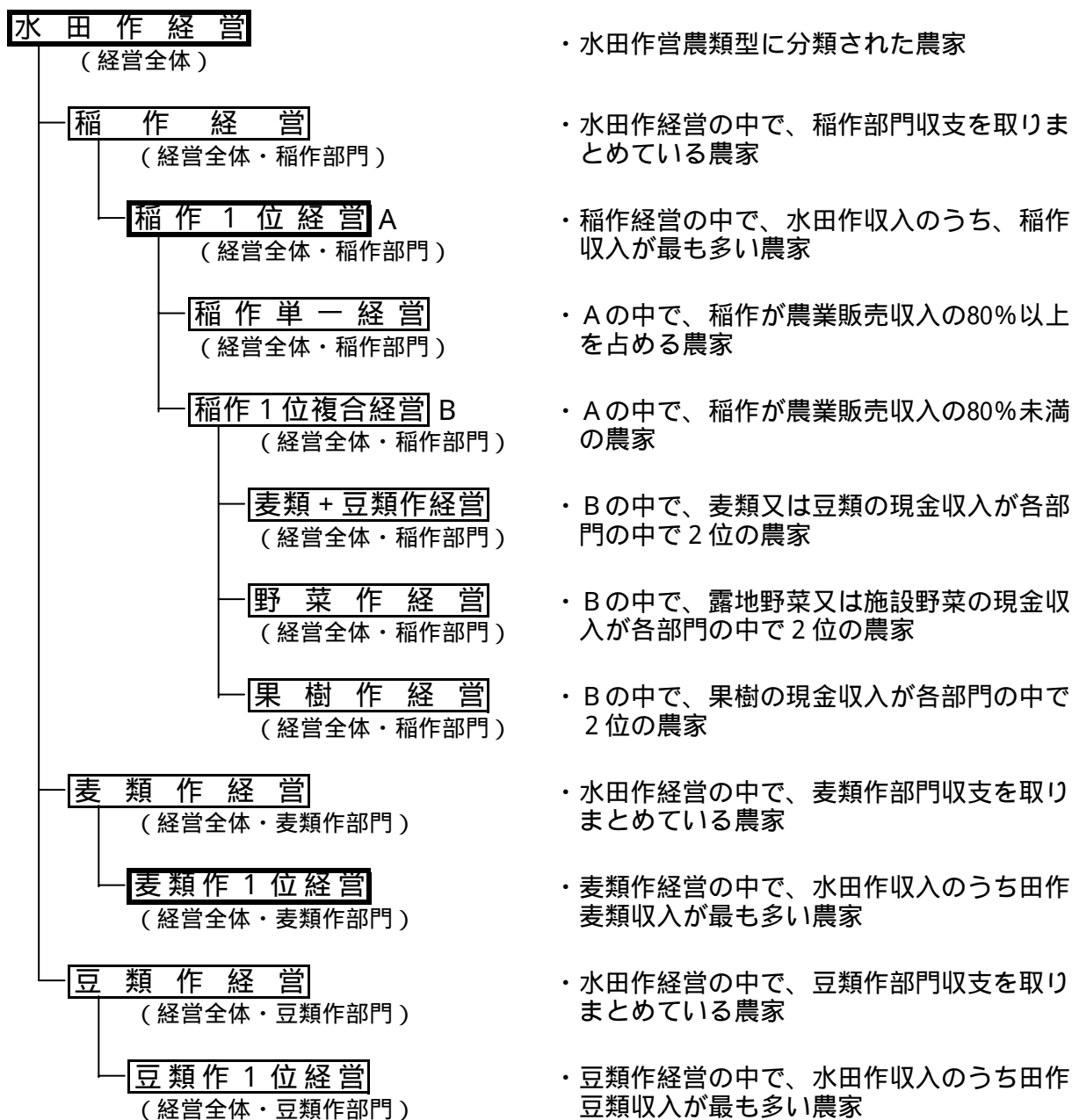
農業経営関係者の農業経営以外の経営負担分を計上しました。

2 統計表章の概要

(1) 水田作経営における統計編成

水田作経営における統計編成は、以下のとおりです。

統計の集計内容



注：1 太枠は本統計結果で表章している統計であり、それ以外の統計については追って刊行する報告書に掲載します。

2 ()内は作成する収支です。

(2) 規模階層区分

ア 水田作作付延べ面積規模別

稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物を田に作付けた延べ面積

イ 稲作(麦類作、豆類作)作付面積規模別

田作、畑作を問わず当該作物を作付けた面積

3 調査の目的

農業経営統計調査の営農類型別経営統計（個別経営）は、農家の営農類型別の経営の実態を明らかにし、農業行政の資料を整備することを目的としています。

4 調査の対象

営農類型別経営統計（個別経営）は、販売農家（経営耕地面積が30a以上又は過去1年間に農産物販売金額が50万円以上の農家）を対象としました。

なお、この第一報で公表するのは、このうち、水田作営農類型に分類された農家を対象としています。（営農類型の分類については「1 調査の概要」の「(1) 調査農家の営農類型分類について」を参照。）

5 調査期間

平成16年調査の調査期間は、平成16年1月1日から12月31日までの1年間となっています。

6 調査方法

調査農家に調査票を配付して、毎日の現金収支及び労働時間等を記録させる自計申告調査、農林水産省の職員が調査農家の決算書類を閲覧しその内容を転記して行う調査並びに農林水産省の職員が調査農家の代表者に対して行う面接調査の方法により行いました。

7 集計客体数

水田作経営の九州集計戸数は、244戸です。

8 分析指標等の計算方法

分析指標等の計算については、以下のとおりです。

なお、農業固定資産額については土地を除いて計算しており、また、経営全体は農業固定資産の年始め現在価＋購入額ですが、部門収支の場合には農業固定資産の年始め現在価のみとしています。

- (1) 農業所得率 = 農業所得 ÷ 農業粗収益 × 100
- (2) 付加価値額 = 農業粗収益 - [農業経営費 - (雇用労賃 + 支払小作料 + 農業経営に係る負債
利子)]
- (3) 付加価値率 = 付加価値額 ÷ 農業粗収益 × 100
- (4) 農業固定資産装備率 = 農業固定資産額 ÷ 自営農業労働時間
- (5) 農業経営関与者一人当たり農業所得 = 農業所得 ÷ 農業経営関与者数
- (6) 農業経営関与者一人当たり総所得 = 総所得 ÷ 農業経営関与者数
- (7) 農業専従者一人当たり農業所得 = 農業所得 ÷ 農業専従者
- (8) 家族農業労働1時間当たり農業所得 = 農業所得 ÷ 家族農業労働時間
- (9) 農業固定資産千円当たり農業所得 = 農業所得 ÷ 農業固定資産額 × 1000
- (10) 水田作作付延べ面積10a当たり農業所得 = 農業所得 ÷ 水田作作付延べ面積 × 10
- (11) 自営農業労働1時間当たり付加価値額 = 付加価値額 ÷ 自営農業労働時間
- (12) 農業固定資産千円当たり付加価値額 = 付加価値額 ÷ 農業固定資産額 × 1000
- (13) 水田作作付延べ面積10a当たり付加価値額 = 付加価値額 ÷ 水田作作付延べ面積 × 10

本統計結果の詳細は、追って刊行する『農業経営統計調査報告 平成16年営農類型別経営統計（水田作・畑作編）』（仮称）に掲載します。

【関連リンク】

九州農政局ホームページ>農林水産情報>農林水産統計
<http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/home/sokuho.htm>

九州農政局ホームページアドレス
<http://www.kyushu.maff.go.jp/>

【問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

経営・構造統計課 経営統計第1係

電話：（代表）096（353）3561 内線4741

（直通）096（353）7566

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：（代表）096（353）3561 内線4723

（直通）096（353）7556